



V500 ボディ・カメラ

スムーズな接続。信頼できるインサイト。

公共安全の現場では、 良好な通信状態の 確保は贅沢ではなく、 必要不可欠なものです。

現場で証拠映像をオフロードして時間を短縮するときも、進行中の事案を監督者へライブ配信して緊急支援を要請するときも、頼れる接続性が欠かせません。



V500 は、既存のボディ・カメラプラットフォームを大幅に進化・洗練させた次世代モデルです。信頼性の高い LTE、Wi-Fi、Bluetooth 機能を、人間工学に基づく設計に搭載しており、あらゆる環境で優れた操作性を発揮します。そのため、世界のどこにいても、コミュニティの安全性、透明性、説明責任を向上させることができます。

しかし、V500 は単なるボディ・カメラではありません。モトローラ・ソリューションズの公共安全エコシステムにおける重要な構成要素として、既存のビデオ、音声、ソフトウェアへの投資を有効活用し、より安全かつ効率的な運用を可能にします。



それぞれの役割をシームレスに接続

リアルタイム情報に基づいて任務を遂行することで、チームはより安全に連携し、より効果的に対応できます。



状況をその場で把握

現場スタッフが常に Wi-Fi の範囲内で活動できるとは限りません。V500 は LTE 接続を標準搭載しており、任意のネットワークキャリアに対応可能です。そのため、リアルタイムで状況を把握でき、チームがどこにいても必要なときに必要な映像を確実に確認できます。さらに、既存の設備投資にストリーミングできるため、最大限の情報を活用して最適な判断を下すことが可能です。

現場スタッフが见ている映像をリアルタイムで共有することで、状況認識を高め、より効果的な対応を調整し、説明責任を維持できます。



LTE 経由でのストリーミング

搭載された強力な LTE 機能を利用し、ローカルネットワークプロバイダー経由で、世界中どこからでもリモートで任務を監督できます。



Wi-Fi 経由でのストリーミング

携帯電話のホットスポットや建物内の Wi-Fi ネットワーク、ルーターを活用して、インシデントを効率的にライブ配信できます。



VMS 統合

固定カメラとボディ・カメラの映像を VMS アプリケーション上で並べて表示することで、新たな視点を得ることができます。サードパーティ製システムにも対応しています。



インシデントを簡単に記録

事態が悪化しても、注力すべきは業務であり、装備の操作に気を取られるべきではありません。証拠映像の記録やライブ配信のいずれの場合でも、ボディ・カメラは現場で確実に作動する必要があります。V500 は、堅牢かつ耐久性に優れ、必要な容量のストレージを備え、多様に設定可能な録画トリガーを搭載しています。これにより、チームの安全を確保しながら重要な情報を確実に記録できます。

最も重要な瞬間でも、鮮明な証拠映像を素早く確実に録画できる安心感があります。



ホルスターおよびボディ・カメラ 録画トリガー

V500 は、装備がホルスターから抜かれたとき、または他の V500 が録画を開始したときに、手動操作なしで即時に録画を開始できるようトリガー設定が可能です。

堅牢な設計

MIL-STD-810H 認証および IP67 等級により、雨、風、雪などの過酷な環境下でもボディ・カメラが確実に動作します。



高品質な映像と 128GB の ストレージ容量

証拠を失うことは許されません。事前および事後の録画バッファを備えた高精細映像により、残業時間も含むシフト全体をカバーできます。

設定可能なボタンと録画挙動

V500 カメラは、業務内容や役割に応じて柔軟にカスタマイズ可能です。ボタンの使用数を自由に設定できるほか、ビープ音、バイブレーション、LED の有効/無効も調整できます。





→ 現場でのタグ付け 近日実装

V500 の人間工学に基づいたバックライト付き LCD 画面により、撮影直後に映像にタグ付けできるため、拠点での事務作業を削減できます。

→ LTE 経由のオフロード

現場スタッフのシフトが終わる前に、証拠の処理に着手できます。V500 は、ネットワーク接続があればどこからでも、重要な映像を安全にオフロード可能です。

→ 高速スマートドック・オフロード

カメラをドックに接続すると、ギガビットイーサネットを使って証拠を素早く効率的にシステムに取り込むため、次のシフトでもすぐにカメラを使用できます。

オンデマンドのオフロード、ワークロードの軽減

処理するデジタル証拠の量は増え続けていますが、早くアクセスできれば管理はより容易になります。V500 では、カメラ本体で映像にタグ付けし、そのままバックエンドソフトウェアに即時送信できるため、証拠処理のワークフローが迅速化されます。シフト終了時には、残りの映像をギガビットイーサネット接続で迅速に転送でき、次のシフトでカメラをすぐに使用可能です。

より早く事案の構築に着手できます。現場スタッフが勤務中でも LTE 経由で映像を取得したり、シフト終了時にはスマートドックの高速転送機能を利用したりできます。



場所を選ばず ハードウェアを管理

ボディ・カメラがメンテナンス中では、現場で使用できず重要な証拠を記録できません。現場スタッフが拠点の近くにも遠くにも、V500 を使えば LTE 経由で必要な設定変更を行うことができ、巡回中も業務の効率を保てます。分かりやすい eSIM の導入や、オンプレミス／クラウドネットワークを活用することで、チームを自分たちに最適な形で接続できます。

カメラは必要に応じて配置でき、現場スタッフが勤務中でもリモート管理によりダウンタイムを最小限に抑えられます。

→ LTE 経由のリモートメンテナンス

地理的条件に左右されず、効率性を維持できます。カメラに直接触れることなく設定を変更可能です。

→ LTE 経由のカメラ位置検索

全カメラを簡単に一元管理でき、紛失したカメラも数秒で特定・無効化できるため、機密データを確実に保護できます。

→ eSIM 機能

開封後すぐに LTE を利用でき、物理 SIM カードの差し替えの手間を省けます。また、国や地域に応じて最適な通信キャリアを自由に選んで使用できます。

→ 拡張性と柔軟性に優れたドッキングシステム

高速充電とオフロード機能、デスクまたは壁への取り付けオプション、RFID タッチ式割り当て機能を備えたスマートドックにより、フリートの規模や場所にかかわらず、カメラの導入と管理を簡単に行えます。



インテリジェンスを 証拠に変える

ボディ・カメラは業務の重要な部分ですが、それは始まりにすぎません。モトローラ・ソリューションズの公共安全向けデバイスおよびソフトウェア全体を活用することで、投資効果を最大化できます。現場スタッフは Bluetooth 経由で TETRA や APX 無線と連携して録画を自動化し、携帯電話で映像にタグ付けできます。さらに、世界中どこからでも現場状況を確認可能です。拠点に戻った際には、ボディ・カメラと車載カメラの映像を同時に確認し、インシデントの全体像を把握して、立件の説得力を強化できます。

単なるボディ・カメラにとどまらず、モトローラ・ソリューションズのエンドツーエンド技術エコシステムを活用して、現場スタッフと公共の安全を守ります。

→ 無線機の統合

1つのボタンで2つの操作を実行でき、直感的に証拠の記録と応援要請を同時に行えます。ペアリングされた無線機が緊急状態に入った場合、V500 を即時に録画開始するようトリガー設定可能です。

→ 車載ビデオシステムの統合

ボディ・カメラと車載ビデオシステムの映像を同じバックエンドソフトウェアで処理し、映像を同期させることで、同一インシデントを複数視点から同時に確認できます。

→ 警察業務向けモバイルアプリケーションの統合

犯罪報告ワークフローの一環として、スマートデバイスで映像にタグ付けすることで、証拠処理を即時に開始し、煩雑な手作業の繰り返しを削減できます。

→ 強力なバックエンドソフトウェア

ボディ・カメラの映像を最大限に活用可能です。車載映像や外部メディア、メタデータと併せてインシデントに追加し、簡単かつ安全に共有・確認できます。



証拠管理をもっと簡単に

デジタル証拠の管理は難しくありません。モトローラ・ソリューションズのバックエンドソフトウェアは、メディアファイルの種類やサイズにかかわらず、効率的に保存・準備・共有できます。これにより時間を有効に活用し、本当に重要な業務に集中できます。



すべてのユーザーに合わせてカメラを最適化

カメラと撮影した映像を手間なく管理できます。導入規模やチーム内の役割にかかわらず対応可能です。



ニーズに合わせてシステムを調整

モトローラ・ソリューションズのソフトウェアは柔軟性と拡張性に優れ、初期導入から日常運用まで対応しているため、常に最適なソリューションを提供します。



記録から完結まで、すべてを一元化

証拠のライフサイクル全体をカバーし、取得・整理・共有・削除を1つのユーザーインターフェースで管理できるため、必要なときにすぐにコンテンツを利用可能です。



自動化で非効率を解消

これまで以上に多くの証拠とユーザーを一元管理し、高度な自動化機能を組み込むことで、ワークロードを効率的に管理し、データ処理を最適化します。



データの安全な保護とコンプライアンス対応

最先端のセキュリティプロトコルにより、誰がシステムにアクセスできるか、何ができるかを制御し、暗号化によって証拠を保護します。





詳細はこちらをご覧ください：
www.motorolasolutions.com/v500



Motorola Solutions Ltd., Nova South, 160 Victoria Street, London, SW1E 5LB, United Kingdom motorolasolutions.com

北米での販売はありません。

モトローラ、MOTOROLA、MOTO、MOTOROLA SOLUTIONS およびモトローラのロゴマークは Motorola Trademark Holdings, LLC.の登録商標であり、そのライセンスに基づき使用しています。文中に記載されているその他の製品名やサービス名は、各社の商標または登録商標です。©2023 Motorola Solutions, Inc. All rights reserved.11-2023 [CK08]